

農事試験場規程第一條第一項に「……兼テ左ノ事項ヲ施行ス」とあり「巡回教習又ハ講話」があげられつぎの規則が定められた。

徳島県告示第百二十四号
徳島縣農事試験場巡回講習施行規則別紙ノ通定ム
明治三十六年四月二日
徳島県知事 亀 井 英三郎
徳島縣農事試験場巡回講習施行規則

第一條 巡回講習ハ簡易ナル學理ノ應用ヲ授ケ且ツ試験場試験ノ成績ニ基キ改良方法ヲ教示スル為メ之ヲ開ク
第二條 巡回講習ノ場所及時期ハ其都度之ヲ告示ス

第三條 講習期間ハ二週間内外トシー日ノ講習時間五時間以内トス

第四條 講習生ハ開場地ノ郡市ニ住シ且ツ左ニ該当スル者ニ限ル

- 一 年齢満十六歳以上ノ男子
- 二 農業ニ従事シ普通讀書ヲナシ得ル者

第五條 講習生タラント欲スル者ハ自己ノ住所氏名年齢職業及履歴ノ大要ヲ自書シ所轄町村役場ヲ經テ講習開始七日前ニ郡市役所ヘ差出シ開始期日ノ午前九時講習所ヘ出頭スベシ

但志願者多數ニシテ収容スベキ場所ナキトキハ郡市役所ニ於テ詮衡ノ上人員ヲ制限スルコトアルベシ
此場合ニ於ケル除斥員ニ對シテハ其旨郡市役所ヨリ通知スベシ

第六條 講習科程左ノ如シ

農藝ニ必須ナル學理ノ大要
地方作物ニ関スル事項
副産物ニ関スル事項

第七條 講習生ノ所要品ハ自辨トス

第八條 講習終了トキハ講習中ノ成績ニ鑑ミ特ニ終了証明書ヲ授興スルコトアルベシ

第九條 講習ニ関スル順序方法ハ農事試験場長之ヲ定ム

附 則

第十條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

講話や講習などの農業技術指導件数は、第3表のとおりである。数少ない技術者が広く県下を巡回指導したのは、大変な苦勞であつたと思われる。また、場の參觀来場人員は年とともに次第に増加し44年には4,626人にも達している。当時の交通事情を思えば、大変な時間と労力を要したと思われるが、農事試験場を參觀することによりそれだけ得るところが多かつたからであろう。当時の農事試験場一覧の冒頭に“百聞ハ一見ニ如カズ!! 来レ来レ農業者、見ヨ見ヨ試験地ヲ、来ッテ聞ケ聞ケ不審ノ事ヲ、然ル上ニテ改良セヨ”とある。また、質問事項も次第に増加し9年後には設立当初の約5倍にも達し、県農会の技術指導とともに農事試験場の技術指導の重大性がうかがえるのである。

第2表 參觀・質問事項

年度\項目	来館人員	質問応答
36	1,655 人	163 件
37	1,679	219
38	1,820	237
39	2,193	232
40	2,352	257
41	2,383	285
42	3,562	672
43	4,235	898
44	4,626	828

第3表 講話・実地指導など

年\項目	講 話 指 導	調 査	品評会 審 査	その他	計
41					120
42	50	16		67	133
43	63	36	3	61	163
44	146	120	53	141	460

なお、技術指導のため当時としては膨大な資料が作成され配布されている。以下2,3の代表例をあげればつぎのとおりである。

○農事試験場要報第1号〔戦争に対する肥料の心得〕:(明治 37年3月.11ページ),1,000部

○農家必携試験成績便覧:(明治37年10月.104ページ),3,000部がある。

そのはしがきに「旧四国支場以来多きは8年少なきも2ヵ年間の試験成績を平易に分り易い書方にて取りまとめた。」とあり稲作の部,“稲ではどんな種類がよろしいか”に始まり種子交換,選種,浸種,播種量,播種期,苗代施肥,植え方,灌水などの注意点を示している。以下陸稲の部,藍の部,大豆の部,麦類の部,油菜の部,肥料の注意,作物虫害駆除予防の仕方,作物病害駆除予防の仕方,副業的作物の作り方を詳細に書いてある。

○農事試験成績報告第1号:(明治39年3月,339ページ)1,000部。

「本報ハ明治36年ヨリ37年ニ亘リ本場ニ移テ举行シタル農事及昆虫ニ関スル諸試験ノ聖蹟ナリ」元農商務省農事試験場四国支場に継続して設立したので試験設計は主として同支場の試験設計に基いて実施したと記述してある。内容は、稲作試験成績14項目,麦作試験成績17項目,大麦・小麦の種類試験,蓼藍作試験成績10項目,陸稲作試験成績4項目,以下大豆作,油菜作,紫雲英作,昆虫試験成績,委托試験成績(藍作,煙草),調査(肥料,種子)があり各作物とも品種,耕種,施肥試験の結果が報告されている。

なお、報告書の末尾には、つぎの句が載っている。

植る田や百萬石も指の先
精だせば氷るまもなし水車

文献

徳島県農会(1902～1912):徳島県農会報,第1号～第62号

日本農業発達史調査会編(1954):日本農業発達史

3,資料・復刻編

中野島村(1954):中野島村史

横山春陽(1955):阿波の秘宝,徳島新聞出版部

徳島県史編さん委員会(1966):徳島県史第5巻

日本地誌研究所〔1969):日本地誌,第18巻,二宮書店

農業技術研究所(1974):農業技術研究所80年史

福井好行(1977):徳島県の歴史

徳島新聞社調査事業局編(1981):徳島県百科事典

宇山孝人(1982):藍作始終略書,日本農書全集30巻